

武蔵野市エコプラザ（仮称）管理運営方針（案）への意見及び取り扱い方針

「武蔵野市エコプラザ（仮称）管理運営方針（案）」への市民意見聴取を次のとおり実施した。

・パブリックコメントを平成31（2019）年2月15日から3月4日実施

オープンハウス：平成31（2019）年2月19～21日、24日に市内3か所で実施、55名参加

環境市民団体ワークショップ：平成31（2019）年2月15日・23日実施、延べ44名参加

あわせて8名・団体からのコメントを、管理運営方針（案）の目次に沿って24件の意見に分類した。

管理運営に関する基本的な方針

No.	意見要旨	対応
1	市民がみな平等に気兼ねなく使える施設であって欲しい。誰もが気軽に利用し、参加できる場であることを期待する。	エコプラザ（仮称）は、多様な環境問題と環境の大切さを啓発する全市的な拠点施設です。多くの市民に活用され、日々の生活から環境を考える際のよりどころとなるよう、努めてまいります。

施設の概要

No.	意見要旨	対応
2	プラットホームを間仕切りをせず、広く多目的に使用できるのがとても良い。	旧プラットホームは、大空間が特徴的であり、この空間を活かしたプログラムを実施してまいります。

機能と事業（想定プログラム例）

No.	意見要旨	対応
3	ものづくり工房はこれまで市になかった重要な機能で、今後の活躍が楽しみ。家庭で設置することが難しい工作機械を導入するなど充実させて、家でできない工作ができると良い。廃材をストックして使えるのも面白い。	具体的な空間利用の方法やプログラム内容については、いただいたご意見などを踏まえて、今後、運営協議会や連携会議の場で検討してまいります。
4	工作は作業に何日もかかることがあるが、何日も通うことで顔を合わせる人とつながりができる。逆に、イベント的に短時間で盛り上がって工作に関心を持ってもらうことにも期待する。このような両面をもった施設になるとうれしい。	
5	焚き火をできる場所があると面白いかもしれない。	
6	エコプラザの一部に落ち葉を集める場所は作れないか。落ち葉をゴミにするのではなく、市の財産として、子どもたちの遊べる落ち葉プールとして利用できるし、街路樹や屋敷林の落ち葉も回収して堆肥を作り市内の農家さんに使用してもらうなど、有効利用できる方法がある。	
7	世界的に問題になっているマイクロプラスチックの問題意識を武蔵野市も強く持ち、プラスチックの削減に取り組んでほしい。ペットボトルキャップについては、市内に回収拠点があればただのゴミにならない。SDGsの観点からも積極的に取り組むと良い。	
8	ものづくり工房で生まれた面白いものをどこかの文化祭などに展示するのはいかがか。	
9	子育て世代は何かと出費も多く、学用品のリサイクルがあると良い。人にあげるのをためらって捨ててしまうケースもあると聞く。	

10	相談機能はワンストップがいい。	エコプラザ（仮称）にコーディネーターを配置し、利用者の相談に応じサポートしてまいります。
----	-----------------	----------------------------------------------

管理運営の基本的な事項

No.	意見要旨	対応
11	環境やものづくりには科学の視点が必要。人員体制・運営協議会に反映してはどうか。	ディレクターやコーディネーターは多様な環境分野に関する専門的知識を持つことを要件としています。また、プログラムを検討する連携会議等の場に、科学も含めて様々な分野の方に参加してもらえよう工夫してまいります。
12	ものづくりをする人たちは自分がどんなアイデアで何を作っているか話したがるし、話を聞くのも大好き。ものづくり工房でもくもくと作業しつつも仲間ができていく。コーディネータがそんな空気を作りだしたり、そんな空間になると良い。	ディレクターやコーディネーターを中心に、利用者寄り添いながら、世代を越えた人・情報の交流を促してまいります。
13	エコプラザの財源の問題は市政予算全体のバランスの中で検討すべき。	環境問題が喫緊の課題であることやエコプラザ（仮称）の意義について広く周知を進め、必要な財源を確保できるよう努めてまいります。
14	案に示されている嘱託職員の報酬水準で、市民が期待する働きができる有能な人材を確保できるのか心配。もっとここに予算を掛けても良いと思う。	嘱託職員の報酬額については、市に一定のルールがあります。ご意見として承ります。

その他

No.	意見要旨	対応
15	<p>ハコモノとしてのエコプラザ（仮称）がなくとも、市として必要な環境啓発等は可能である。エコプラザ（仮称）の建設・運営には多額の費用がかかることが明らかになったことを踏まえると、エコプラザ（仮称）関連事業は、費用対効果が全く見合わない。エコプラザ（仮称）計画地周辺の住民とは長期間に渡り対話をされてきたのかもしれないが、それ以外の市民との対話は極めて限定的である。事業規模を大幅に縮小した上で、これにより捻出された費用を、市民にとって最も身近な行政サービスであるごみ収集の頻度維持のため、また、クリーンセンターの安全対策向上のために充てるべきである。</p>	<p>市民、環境活動団体、企業等が環境啓発の担い手・主体として活躍できるようにするためには、様々なステークホルダーが顔の見える関係となり対話することが不可欠と考えています。エコプラザ（仮称）は、多様な環境啓発と環境に関するネットワークの拠点として自由に来所できる施設であり、環境を切り口にした交流の場を設け、環境分野や人、世代をつなぎ、活動をはぐくみ、支えることとしています。</p> <p>また、旧クリーンセンターの一部を改修して利用することで、本市のごみ処理の歴史や新旧クリーンセンター建設の歴史を継承してまいります。</p> <p>今後も、ごみ減量やごみの適正な分別について積極的に周知するなど、引き続き、市民サービスの維持・向上とクリーンセンターの安定稼働に努めてまいります。</p>
16	<p>エコプラザ（仮称）関連事業の運営費を安く見せるためか、環境部の職員をエコプラザ（仮称）に派遣することを予定しているようだが、減少した分の環境部職員が増員される恐れがある。ハコモノとしてのエコプラザ（仮称）を運営するようなこととなれば、環境部職員の定員を厳格に監視・管理する仕組みを用意する必要がある。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
17	<p>前回のパブリックコメント実施の際、意見はエコプラザ（仮称）検討市民会議には概要がちらっと提示・紹介されただけで、相応の時間を確保して個々の論点について議論がなされた形跡がない。今回のパブリックコメントについては、来年度予算の審議を回避する形での実施で、議会における必要な議論を避けようとする姿勢すら感じる。パブリックコメントのより効果的・実効的な実施・活用を求める。</p>	<p>前回のパブリックコメントでいただいた全てのご意見に対して市としての取り扱いを検討し、「武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方」を決定しました。</p> <p>今後も機会を捉えて、市民の皆さまへの周知や意見聴取などを行ってまいります。</p>
18	<p>多様な環境のことを啓発するということはとても重要だと思うが、5.5億円の改修費用のほかに毎年の運営費が2740万円と3人の正規職員分かかる。エコプラザの機能はクリーンセンターを活用することにし、浮いた費用を市民が「重点的に進めてほしい施策」とするものに投入することはできないか。</p>	<p>環境は喫緊の課題です。環境啓発とネットワークの拠点となるエコプラザ（仮称）を多くの市民に活用してもらい、環境問題を自分のこととして捉えライフスタイルを変えるきっかけとなることを目指します。</p>

19	<p>旧クリーンセンターの一部を再利用したエコプラザを通じて、住民参加の原点となった旧クリーンセンター建設の歴史に思いを馳せながら、「ゴミゼロ」をめざして市民全体で努力するならば、この地においての建て替えもやむを得ないと考えている。そしてエコプラザが実現することによってそれが可能となることと認識している。</p>	<p>クリーンセンター建設と武蔵野市のごみ問題には、市民参加の歴史が詰まっています。理念として残すだけでなく、旧クリーンセンターの一部を活用してエコプラザ（仮称）を開設し、環境啓発の拠点として市民にごみ処理への理解を求めていくことには意義があると考えています。</p>
20	<p>持続可能な社会・地域づくりに向けて、ごみをはじめとした環境問題について市民ひとりひとりが日々の暮らしの中から気づき、考え、学び、行動するための啓発施設としてのエコプラザは、ますます必要な施設となってきている。</p>	<p>持続可能なまちづくりのために、すべての市民が様々な環境問題を自分のこととして捉え、ライフスタイルを変えるきっかけとなるよう啓発を進めます。</p>
21	<p>エコプラザの整備をしっかりと推進してほしい。あわせて、市民および市民の代表である市議会議員の皆様理解していただけるような取り組みもぜひ進めてほしい。</p>	<p>2020年11月の開設に向け、計画的に整備してまいります。開設までの間も、開設後も、機会を捉えて市民や市議会議員の皆様周知し、理解・協力をお願いしてまいります。</p>
22	<p>環境に関した施設を作ってくださいことに感謝する。</p>	<p>今後も、エコプラザ（仮称）に関する周知を進め、全市民的な環境に関する拠点となるよう努めてまいります。</p>
23	<p>新クリーンセンターとエコプラザは一体でその機能を果たすものと考えている。エコプラザのみを取り上げて、そこまでコストをかける必要はないのではという意見があるが、エコプラザが必要ないというのはクリーンセンターも必要ないと言っているのに等しい。</p>	<p>エコプラザ（仮称）は、新クリーンセンター建設事業の一環として、長い期間をかけて議論を積み上げてきた施設です。すべての市民に向けた環境啓発と環境に関するネットワークの拠点として位置づけ、整備検討を進めています。</p> <p>持続可能なまちづくりのために、ごみをはじめ多様な環境について啓発するとともに、クリーンセンター建設の歴史や議論・成果・関わった方たちの思いなども継承してまいります。</p>
24	<p>モノの交換やリサイクルを行うのであれば、市役所のものもリサイクルしたり、リサイクル品を市役所が使うのはどうか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>